

令和3年度 第6回 高士区地域協議会 次 第

日時：令和3年11月8日(月) 午後6時30分～
会場：高士地区公民館 大会議室

延べ1時間30分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 報告事項

- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について 【10分】

(2) 協議事項

- ・地域活動支援事業の審査等の振り返り 【25分】

(3) 自主的審議事項

- ・旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について 【50分】

3 その他

(1) 次回開催日の確認等

【3分】

【第7回地域協議会】

- 日時 : 12月 日 () 午後6時30分から
- 会場 : 高士地区公民館 大会議室
- 内容 : 自主的審議

(2) その他

4 閉 会

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

令和 3 年 8 月

上越市自治・地域振興課

1 概要

- ・第 4 期地域協議会委員へ依頼した「地域協議会に関する意識調査」について、回答の傾向から改善を要すると考えられるもののうち、市及び各地域協議会として比較的速やかに取り組むことが可能な項目を整理しました。
- ・中長期的な検討を要すると考えられるものについては、回答の内容から課題を整理し、市において令和 6 年の次期委員改選を目途に検討を継続します。

2 調査結果を受けた取組について

各設問の回答について、「具体的にどのような部分、分野に対するものか」の観点から細分化して整理し、回答の多かった主な項目について、短期的に実施が可能な取組と中長期的に検討を要するものに分類しました。

2-1 短期的に実施が可能な取組**(1) 市が取り組むこと****ア 周知について****ア-1 主な回答**

- ・委員の活動について、仕事や家庭等との両立が難しかった。
- ・協議会の会議を優先させてもらえるよう、職場等に理解を求める工夫をした。
- ・協議会制度の認知度を上げる努力をもっとしてほしい。
- ・自主的審議における地域課題の解決には、地域団体の協力が不可欠

ア-2 市の今後の取組

- ・委員の求めに応じ、委員の勤務先等に委員活動への理解と協力依頼の文書を発出するなど、委員の勤務先等から理解や配慮をいただける環境づくりを行います。
- ・各地域協議会だよりによる周知を継続するほか、委員改選時に実施する市広報の特集記事の掲載に限らず、市ホームページや SNS の活用、活動報告会の毎年開催など、自主的審議等協議会の活動や成果等を市民へ広く周知する方法を検討します。

イ 情報共有について

イー１ 主な回答

- ・他地区の地域課題をもっと情報提供してほしい。
- ・議論を進めるにあたっては、他協議会の事例等を交えたらよいと思う。

イー２ 市の今後の取組

- ・空き家対策の審議から「(仮称)安心ノート」の取組につながった(清里区)など、自主的審議から課題解決の取組につながった事例を、議論の参考として地域協議会へ情報提供します。
- ・各地域協議会における議論の内容、答申を受けての市の対応及び各事務局で把握した情報等を事務局間で情報共有し、自らの区で参考になりそうな事案があれば、地域協議会へ積極的に情報提供します。[下線部は市議会提案を反映]
- ・各事務局が可能な範囲で区内の地域団体等の活動計画を情報収集し、地域協議会へ情報提供します。

ウ 元気事業について

ウー１ 主な回答

- ・元気事業について、取り組み方の基本的なイメージや方法等が委員の多くで共有できなかった。
- ・議論を進める上で、元気事業の活用を想定していなかった。

ウー２ 市の今後の取組

- ・「地域を元気にするために必要な提案事業」の目的の理解や認知度を高めるため、当事業を活用した事例を地域協議会へ周知します。
- ・地域協議会での議論の状況を踏まえ、事務局が当事業の活用を検討を提案します。

(2) 各地域協議会において取組の検討をお願いしたいこと

ア 意見交換について

アー１ 主な回答

- ・協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要
- ・課題に気づき、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要
- ・日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要

アー２ 各地域協議会における今後の取組(案)

地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化 [下線部は市議会提案を反映]

イ 会議運営について

イー１ 主な回答

- ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。
- ・月１回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。
- ・毎回１時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。
- ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。
- ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。
- ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。

イー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

- ・委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定
- ・必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用
- ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施
- ・会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮
- ・分科会やグループワーク等、小規模な話し合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり

ウ 情報発信について

ウー１ 主な回答

- ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。
- ・各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。

ウー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

協議会の活動に市民から関心を寄せていただけるように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫

２－２ 市において中長期的に検討を要するもの（主な意見）

- ① 委員資格について
「職場が区内にある人も委員の対象とする」といった委員資格に関するもの
- ② 委員の公募公選について
「立候補者や若い人達の応募が少ない」といった公募公選に関するもの
- ③ 委員の追加・補充選任について
「定員合わせは不要」、「やる気のある人だけで進めるべき」といった委員の追加、補充選任に関するもの

④ 議論の深化・活発化について

「地域団体との意見交換の枠を超えるオブザーバー制度の導入」といった議論の深化や活性化に関するもの

⑤ 報酬の要否について

「自主参加とはいえ、拘束時間に対する補償が少ない」、「委員になりたくない理由の一つとして費用弁償だけでは少なすぎる」といった報酬に関するもの

上記のほか、「地域活動支援事業」に関して、「地域活動支援事業は根本的な見直しの時期」、「同じ団体だけが毎年申請する状況が続く点の改善」、「補助対象事業の統一」、「地域協議会提案枠の創設」などの意見があったことを踏まえ、地域活動支援事業の在り方や運営に関することについて検討していきます。

また、「地域を元気にするために必要な提案事業」の制度に関して、「面倒」、「使いにくい仕組み」といった意見があったことを踏まえ、地域を元気にするために必要な提案事業の制度の仕組みや活用のしやすさについて検討していきます。 [下線部は市議会提案を反映]

➤地域協議会の制度自体の在り方に係るこれらの意見に対しては、市議会総務常任委員会
で予定される提言等を踏まえながら、引き続き市で検討を進めていくこととします。

3 今後の予定

- | | | |
|-------|-----|--|
| 令和3年度 | 8月～ | ・地域協議会に短期的に実施が可能な取組案を示し、各地域協議会で協議 |
| | | ・すぐに取り組めるものから実施するとともに、各地域協議会において取組を検討いただく。 |
| | | ・市で調査結果の分析と中長期的に検討を要する項目の検討を継続 |
| 令和4年度 | | ※市議会総務常任委員会からの提言（予定） |
| | 4月～ | ・市議会からの提言を受けて検討継続 |
| | 年度末 | ・市としての地域協議会の見直し案の確定 |

4 研修について

地域協議会の役割などの研修等が必要と判断される場合は、事務局（総合事務所、まちづくりセンター）との協議をお願いします。

また、委員個人として確認や相談を希望される場合は、事務局へお声がけください。

【高士区】令和3年度 地域活動支援事業 審査(採択)結果一覧表

資料2

1 当初募集

当区の地域活動資金の配分枠：4,900,000円

単位：円

順位	事業番号	事業名	提案団体名	事業費	申請額	基本審査	採択方針	得点										上位との得点	採択結果	配分額残額
								平均点	公益性	必要性	実現性	参加性	発展性	小計	特定事業	合計				
									(最高点)	(最低点)	(最高点)	(最低点)	(最高点)				(最低点)			
1	士-7	「雪まつり(キャンドルイベント)」開催による地域交流・地域活性化事業	高士地区雪まつり実行委員会	2,425,828	2,375,000	○:12人 ×:0人	○:12人 ×:0人	平均点 9.3 (最高点 10) (最低点 8)	4.4	4.9	9.7	4.3	32.6	5	37.6	-	提案どおり採択	2,525,000		
2	士-5	高士地区の安全安心対策事業	高士地区防災防犯協会	816,850	816,000	○:12人 ×:0人	○:10人 ×:2人	平均点 9.5 (最高点 10) (最低点 8)	4.5	4.8	8.2	4.2	31.2		31.2	6.4	提案どおり採択	1,709,000		
3	士-2	地区だより「たかし」発行事業	高士地区振興協議会	195,000	195,000	○:12人 ×:0人	○:10人 ×:2人	平均点 8.0 (最高点 10) (最低点 6)	4.1	4.9	7.2	3.8	28.0		28.0	3.2	提案どおり採択	1,514,000		
4	士-1	高齢者の見守り活動・お楽しみ交流会・弁当配食事業	ひとふさの会	285,000	160,000	○:12人 ×:0人	○:10人 ×:2人	平均点 8.2 (最高点 10) (最低点 6)	4.1	4.8	7.2	3.4	27.7		27.7	0.3	提案どおり採択	1,354,000		
5	士-6	令和3年度 稲谷【だんとうの大杉】保存事業	稲谷【だんとうの大杉】保存会	754,500	748,000	○:12人 ×:0人	○:10人 ×:2人	平均点 8.8 (最高点 10) (最低点 6)	4.3	4.4	5.7	3.9	27.1		27.1	0.6	提案どおり採択	606,000		
6	士-3	高士地区お買い物ツアー事業	高士地区婦人会	122,240	88,000	○:12人 ×:0人	○:10人 ×:2人	平均点 7.5 (最高点 10) (最低点 6)	3.9	4.8	6.3	3.3	25.8		25.8	1.3	提案どおり採択	518,000		
7	士-4	「男の料理教室」開催事業	高新会	59,640	59,000	○:11人 ×:1人	○:9人 ×:2人	平均点 6.0 (最高点 8) (最低点 4)	3.0	4.0	4.8	3.2	21.0		21.0	4.8	提案どおり採択	459,000 (追加募集額)		
合計					4,441,000															

【高士区地域協議会からの所見】
若い世代の方が主体となって本事業を継続して実施されていることは、高士区のまちづくりにおいて、たいへん意義深く、地区全体で応援していくべきものと考えています。
一方で、このたびの審査の過程において、打ち上げ花火の実施にたいへんご苦勞されていることをお聞きしました。
高士区地域協議会としては、本事業の継続や更なる発展には、地域の理解・協力が不可欠であると考えますことから、事業実施上の課題解決のため、高士地区振興協議会等との連携強化を図ることについて、ぜひご検討ください。

2 追加募集

当区の地域活動資金の配分枠：459,000円

単位：円

順位	事業番号	事業名	提案団体名	事業費	申請額	基本審査	採択方針	得点										上位との得点	採択結果	配分額残額
								平均点	公益性	必要性	実現性	参加性	発展性	小計	特定事業	合計				
									(最高点)	(最低点)	(最高点)	(最低点)	(最高点)				(最低点)			
1	士-追1	ニュースポーツの普及事業	総合型地域スポーツクラブ 高士地区体育協会	258,000	258,000	○:12人 ×:0人	○:11人 ×:1人	平均点 8.8 (最高点 10) (最低点 6)	3.6	4.7	7.3	4.1	28.5	5	33.5	-	提案どおり採択	201,000		
2	士-追2	高士地区住民による児童の安全見守り活動事業	高士小学校区青少年健全育成協議会	219,615	219,000	○:12人 ×:0人	○:6人 ×:6人	平均点 8.7 (最高点 10) (最低点 6)	3.9	4.3	6.5	3.7	27.1		27.1	-	減額採択 (▲18,000) (附帯意見あり)	0		
合計					477,000															

【減額の理由】
・防犯パトロールベストの各町内会への配布計画が具体的に示されていないことから、高士区の予算(配分額)を考慮し、18千円を減額する。
【附帯意見(採択の条件)】
・各町内会への具体的な配布計画(町内会名および配布枚数)、配布後の管理方法および「ながら見守りスタッフ」の具体的な選出方法について、地域協議会へ報告すること。

令和 3 年度 地域活動支援事業（高土区）の採択方針等

項目	令和 3 年度の状況		審査の振り返り	令和 4 年度の方針等 (審議結果に✓)
	方針等	実施状況		
採 択 方 針 (募集するテーマ)	<p>高土区の課題解決と更なる活性化のため、下記のテーマを特に募集します。</p> <p>●集まれ！子育て世代～子育て世代の活動を応援します～</p> <p>●人を呼べる新たなイベント～高土の魅力を発見・発信しよう！～</p> <p>【集まれ！子育て世代 ～子育て世代の活動を応援します～ の活動のイメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てをしながら季節の暮らしを楽しむ子育て世代のグループ活動や、子どもも一緒に企画し実施するイベントや活動。 (活動の例：夏休み宿題塾、親子キャンプ、稲刈体験、ハロウィンパーティー、リース作り など) <p>【人を呼べる新たなイベント ～高土の魅力を発見・発信しよう！～ の活動のイメージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区外の住民との交流を促進し、地域の賑わいを創出する新たな活動。または今後の活動の展開によりその効果が期待できる活動。 (活動の例：ウォーキングツアー、お花見、花火大会、秋の収穫祭 など) <p>-----</p> <p>また、上記のテーマ以外に【これから新たに行う取組】と【これまで継続的に行われてきた取組】についても広く募集します。なお、採択に当たっては、以下のポイントに沿った取組を優先的に採択します。</p> <p>【これから新たに行う取組の採択ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の効果が、高土区内の特定地域に限らず、他の地域にも波及すること。 <p>【これまで継続的に行われてきた取組の採択ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取組を振り返り、やり方を工夫するなど、改善・発展が見られること。 	<p><テーマ該当実績></p> <p>●集まれ！子育て世代～子育て世代の活動を応援します～</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2 件 (高土ルミネ、ニュースポーツ) <p>●人を呼べる新たなイベント～高土の魅力を発見・発信しよう！～</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1 件 (ニュースポーツ) <p>★(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高土区地域協議会として、提案を求める事業が明確になっているか。 ・提案者にとって分かりやすい内容か。 <p>※(参考)</p> <p>自主的審議のテーマ「旧高土スポーツ広場の活用策について」</p>		<input type="checkbox"/> 令和 3 年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。
補 助 率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10/10 以内(審査・採択の過程で減額等の対応は可能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 事業を満額採択 ・ 1 事業を減額採択 		<input type="checkbox"/> 令和 3 年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。
補助金の限度額 (上限・下限)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上限 … なし (高土区の採択可能額が上限となる) ・ 下限 … 1 万円 (1 万円未満の事業は対象外) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高額 237 万 5 千円 ・ 最低額 5 万 9 千円 		<input type="checkbox"/> 令和 3 年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。

項目	令和3年度の状況		審査の振り返り	令和4年度の方針等 (審議結果に✓)
	方針等	実施状況		
募集期間	・当初 … 令和3年4月1日(木)～26日(月) ・追加 … 令和3年8月2日(月)～23日(月)	－		
追加募集	・規定なし(審査により配分残額が生じた際に取扱いを協議する。)	・実施した。(追加募集額45万9千円)		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []
ヒアリング (疑問点の解消方法)	・提案された全ての事業を対象にヒアリングを実施する。	・全事業のヒアリングを実施した。 ・概要説明4分+質疑応答5分		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []
基本審査判定	・地域活動支援事業の目的に適合するかを判定し、審査する委員の3/4以上(9名/12名以上)が不適合と判定した事業は不採択とする。 ・なお、基本審査に不適合と判定した場合は、共通審査基準(配点)の全項目を0点として扱い平均点を算出する。	・最大で1名/12名が不適合と判定		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []
採択方針への 適合判定	・高土区の採択方針に沿う事業内容であるかを判定し、審査する委員の3/4以上(9名/12名以上)が不適合と判定した事業は「評価の低い事業」とする。	・最大で6名/12名が不適合と判定		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []
共通審査基準の 項目と配点	・項目 … 公益性、必要性、実現性、参加性、発展性 ・配点 … 5項目とも配点5点(25点満点、傾斜配点なし) ・平均点2点未満の項目が1つでもあった場合は「評価の低い事業」とする。	・評価の低い事業なし ★(ポイント) 特に重視したい項目がある場合は、項目の追加や配点の変更も可能。		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []
順位付けの方法	・基本審査及び採点方針に適合との評価が多く、かつ共通審査基準の平均点が高い順に順位付けを行う。 ・なお、「評価の低い事業」は、上記による順位付けを行わず、協議会で採否を協議する。	・評価の低い事業なし		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []
審査の自粛	・高土区では、委員が提案者(提案事業の代表者)の場合でも、他の委員と同様に審査を行う。	－		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []
その他	・補助対象外と規定する事業なし。	－		<input type="checkbox"/> 令和3年度と同様 <input type="checkbox"/> 次のとおり見直す。 []

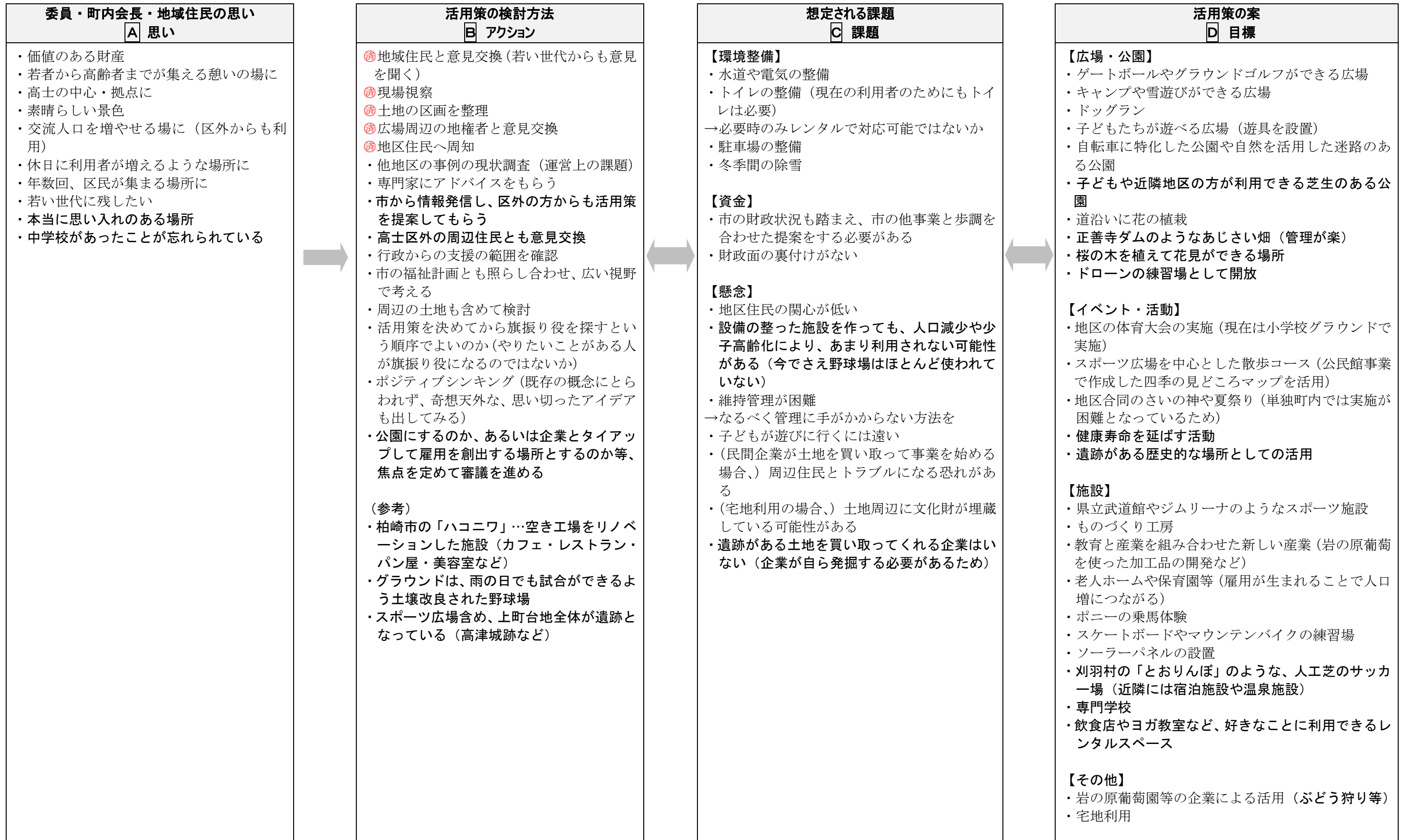
検討シート

【自主審議事項】旧高士スポーツ広場（旧高士中学校跡地）の活用策について

【10.1 意見交換会結果反映】

審議の概要

「人口減少による地域全体の衰退が危惧される中、高士区地域協議会では地域活性化を図る目的で、旧高士スポーツ広場を地域の拠点とする！」



※太字が 10/1 の意見交換で出た意見